

米国の圧力をはねかえし、国民が主人公の国づくりをすすめる

南米 ベネズエラの 仲間がやってくる

あなたも来日歓迎連帯のつどいへ



知ろう
学ぼう
ベネズエラの
いま!

ベネズエラ国民は、ボリーバル革命に対する世界の人びとの支援に限りなく感謝しています。私たちの国民の心をみなさまにお伝えし、シモン・ボリーバルの国民の支援と愛を送ります。ベネズエラ国民は、愛を持って世界の人びとの愛に報います。

(チャベス大統領の演説より)



日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

◆資料 ベネズエラ、ラテンアメリカ、アジア、アフリカの流れを学ぶ学習資料ともなっています。

ふれよう ベネズエラの変革のうねり

連帯し 交流しよう



日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会（日本AALA）がこの春、ベネズエラから訪日代表団を招いて全国各地でおこなう歓迎連帯行事。この意義深く魅力的なとりくみに、ぜひ、ご参加ください。

覇権主義とたたかう 国際連帯のとりくみです

いまベネズエラのチャベス政権は、米国の強大な軍事力を背景とした覇権主義と新自由主義グローバル化の押しつけに反対し、多くの国民の貧困の克服、医療、教育の向上にとり

くむとともに、平和で公正な世界を築く重要なイニシアティブを発揮しています。私たちの歓迎連帯行事は、このベネズエラと連帯するとりくみです。

日本中に感動と勇気を ひろげるとりくみです

1999年2月のチャベス大統領就任以来、ブッシュ政権と提携した財界・軍部のクーデターなどを打ち破り、憲法にもとづいた「国民が主人公の参加型民主主義」の革命、民族主権擁護のたたかいがすすむベネズエラ。こうしたベネズエラの挑戦は、21世紀の人類史にとっても大きな意味をもっています。

11月のイシカワ駐日ベネズエラ大使の講演には、こんな熱い共感の感想が多数寄せられました——「この汚れた世界で今どきこんな国があるのかとビックリ」「お話を聞いて勇気が湧いてきました」「政府が民主化さ

れることが、国民にとってどんなにすばらしいか、あらためて知らされてたいへん感動」「国民が政治の主人公、とても夢のある話だった」「より公正で平等な社会をめざして、日本でも頑張らなければとの思いを強くしました」等々。

全国津々浦々に、この感動と勇気をひろげるとりくみです。

日本からベネズエラに 激励を送るとりくみです

この歓迎連帯行事は、憲法9条を守るたたかい、日米安保廃棄・在日米軍基地撤去をめざす運動、無分別な民営化とのたたかいなど、対米従属下の日本にも社会変革をめざす草の根の活動があり、ベネズエラ革命に熱い視線を送っていることを紹介し、激励する場でもあります。ベネズエラと日本、それぞれのたたかいを交流しあい、連帯しあう機会となるでしょう。



04年5月 チャベス支持のデモ行進

代表団の顔ぶれ

団長
第五共和国運動の国会議員
(予定)

現政権与党「第五共和国運動(MVR)」という政党は、1983年にボリーバル革命運動(MBR)として設立され、1998年MVRと名前を変更、リーダーのチャベス氏が同年12月の大統領選で56.2%を確保して当選。99年4月の国民投票で88%を獲得し、信任された。MVRは民主的、平和的、人権と正義が大切にされる国づくりに努力している。



団員
フェリーペ・フィゲロア
労働組合幹部、57歳

日本の働く仲間のみなさん
心からの友情と兄弟の挨拶をお送りします。みなさんの国を訪問し、ご挨拶ができることと楽しみにしております。

訪問を通じ、みなさんとの絆と関係を強め、日本の実情を知り、学びたいと思います。同時に、今日のベネズエラにおける革命的な進展での政治、経済、社会的な局面につきましてご報告したいと思います。兄弟の挨拶をもって。



団員
エレナ・リナーレス
中学校教師、42歳

友人のみなさん
連帯と革命的な挨拶をお送りします。意義ある経験を共有することで、両国民のための事業を果しめるものにしたいと思います。

お互いに接触するなかで、両国民の兄弟的な団結の絆を強めることが非常に大切だと思います。そして、真の強い連帯をめざす諸組織の共同戦線を確固としたものにしましょう。兄弟の、そして革命的な挨拶をもって。

ベネズエラ国際連帯委員会

ヘロニモ・カレーラ委員長から



親愛なる仲間のみなさん
「国際連帯委員会」(COSI)の二人の活動家、フェリーペ・フィゲロアとエレナ・リナーレスがみなさんを訪問します。委員会を代表して、みなさんに心からの挨拶を送らせていただきます。

最近みなさんの代表がベネズエラを訪問(04年11月)していただいたことで培われました友好の絆が、今回の私たちの仲間の訪問を通じさらに強まるものと信じます。

私たちの組織の代表を送ることにつきましてのご招待に深く感謝いたしております。

国民多数の参加による人間にやさしい政治・経済めざして

医療 バリオ・アデントロ計画、奇跡計画

2003年4月にスタートした「バリオ・アデントロ（居住区の中へ）計画」は、貧しい地域に医療・保健衛生を供給する事業。現在までに733の診療所が建設され、おもにキューバから派遣された医師2万人が働いて、1億5千万回の診察が行われました。

さらに2400の診療所を建設中。2004年3月からは白内障治療の「奇跡計画」によって、11万5千人がキューバで手術を受けました。こうした医療サービスがすべて無料。ゆきとどいた健康管理で、バリオは元気な子どもたちでいっぱい！



診療所で交流する日本の青年たち

福祉 サモーラ計画 人民の店 (Mercal) 計画



人民の家

2003年、大土地所有制と農業の改革、食糧増産、飢えをなくすための「サモーラ計画」がスタート。あわせて、市価の3～5割引で食料や日用品を購入できる「人民の店（メルカール）」や、無料で1日2度の食事を供給する「人民食堂」などがつくられていきました。

国づくり ベネズエラ革命の 新しい段階へ

去年1月、ブラジルでひらかれた世界社会フォーラムに参加したチャベス大統領は、石油の富を公正に分配するだけでなく、生産のしくみの変革、社会主義の建設にむかう意向を表明。



見つめ直そう計画 総合的な内発的発展計画



繊維工場で働く女性たち

失業者を対象に、6ヶ月～2年間、奨学金を支給しながら職業訓練をおこない、また実際の生産活動もおこなう協同組合づくりをすすめるのが「見つめ直そう」計画。2004年3月のスタート以来、すでに6809の協同組合が設立され、26万人が参加しています。

そしていま、さまざまな社会計画を総合して、内発的・持続的な発展を可能にする生産システムづくりが始まっています。

教育 ロビンソン計画 リバス計画、スクレ計画

小学校の課程（とくに識字教育）を推進する「ロビンソン計画」、中等教育を推進する「リバス計画」、大学進学支援の「スクレ計画」が2003年にスタート。もちろん、すべての段階で学費は無料。

ロビンソン計画では、10万人の教師が動員され、150万人いた非識字者が、現在までの2年ほどでゼロになりました。ベネズエラは昨年10月28日、ラテンアメリカでキューバに次いで2番目の「文盲一掃の地」を宣言、ユネスコにも認められました。



「私たちの新しい憲法」と書かれた教科書

ベネズエラ・ボリーバル共和国とは

国名：ベネズエラ・ボリーバル共和国
面積：912,050平方キロメートル（日本の2.41倍）
国家元首：ウーゴ・ラファエル・チャベス・フリーアス（1954年生）
人口：26,130千人（2004年時点）
首都：カラカス 人口205万人（首都圏の人口。2001年国家統計局）
人種：混血66%、白人22%、黒人10%、先住民2%
言語：スペイン語
宗教：ローマ・カトリック（89%）
通貨：ボリーバル（1米ドル＝約2300ボリーバル）
主要産業：世界有数の石油産油国
名目GDP総額：137兆3,681億5,600万ボリーバル [2003年]
一人あたりのGDP（名目）：3338ドル [2004年]



チャベス政権の誕生とあゆみ

- 1494年 コロンブス、ベネズエラ東部のバリア地方に上陸。
- 1811年 ベネズエラ、スペインから独立。
- 1958年 大統領選挙で、民主行動党が勝利し、キリスト教社会党との二大政党制開始。
- 1992年 チャベス、2大政党の長年の支配による悲惨な国民生活の解決をめざしてクーデターを起こすも失敗。
- 1998年 4月 ボリーバル革命運動、第一回大会を開催、7月、「第五共和国運動（MVR）」と名称を変更。
- 1998年 12月 チャベス、56.20%を確保して、大統領に選出される。
- 1999年 12月 新憲法の制定、ベネズエラ・ボリーバル共和国と改名。国民が主人公の参加型民主主義を掲げる。
- 2002年 2月 チャベス政権、ベネズエラ石油公社（PDVSA）の管理権を反革命派から奪還。
- 2002年 4月 チャベス政権打倒の反革命派によるクーデター、国民の反抗により失敗。
- 2002年 12月 反革命派石油ストを組織するも失敗。
- 2003年 2月～ チャベス政権、「サモーラ計画」（農業改革）、「メルカール計画」（生活必需品安価供給）、「居住区に入ろう計画」（無料医療普及）、「ロビンソン計画」（識字運動、「見つめ直そう」計画）（失業対策）諸計画などの社会改革政策を推進。
- 2004年 8月 大統領信任国民投票で、チャベス大統領、大差で信任される。
- 2005年 2月 チャベス大統領、21世紀の社会主義論をたたかわせようと提唱。
- 2005年 4月 土地・農業開発法改正。
- 2005年 5月 内発的開発計画を開始、生産、流通、サービス業で協同組合、市民生産企業、共同経営など、失業者、市民を組織しているいろいろな企業形態を推進。
- 2005年 12月、国会議員選挙を反革命派ボイコット、革命推進派が多数を占める。

世界人口 63 億人の 78%、49 億人

人類の圧倒的多数が住む
アジア・アフリカ・ラテンアメリカは
平和・公正・民主の
国際秩序をめざしている



ラテンアメリカ

ラテンアメリカ・カリブ海地域には、33 カ国・14 の未独立地域があります。面積は、2,042 万平方メートル、地球の耕地面積の約 15%、日本の 54 倍です。人口 5 億 2675 万人(世界人口の 8%)の人が住んでいます。スペイン語(62%)、ポルトガル語(33%)、英語、それに原住民の言葉が話されています。人種は、スペイン系・ポルトガル系、ヨーロッパ系の白人、アフリカ系の黒人、アジア人、先住民のインディオです。宗教はカトリック教徒が 90%です。

このラテンアメリカ地域の政治地図が、90 年代の後半から、自主的、左翼的・中道的潮流が強まり、次のように大きく変わってきています。

- 1999 年、ベネズエラで、チャベス大統領就任、国民が主人公の参加型民主主義のもとで、社会革命を進める

- 2003 年 1 月、ブラジルで飢餓 0 作戦、貧困克服を唱えて、ルーラ労働党政権誕生。
- 2003 年 5 月、アルゼンチンでキルチネル政権誕生、軍政時代の人権弾圧犯罪の追及、国際通貨基金(IMF)の債務返済要求よりも国民の生活重視の政策を追求。
- 2003 年 8 月、パラグアイで、ドゥワルテ政権誕生、汚職を一掃する清新政治を提唱。
- 2004 年 5 月、パナマでパナマ運河返還の立役者トリホス将軍の息子、マルティン・トリホスが大統領選で勝利し、自主的な外交を追求。
- 2004 年 10 月、ウルグアイで、革新統一「拡大戦線」のバスケスが大統領当選。国民の福祉重視、貧困の克服の政策を追求。
- 2005 年 12 月、ボリビアで、先住民のモラーレスが大統領当選し、石油・天然ガス資源の国有化、貧困の克服などの社

アジア

アジアには 23 カ国、人口 35 億人、世界人口の 55%、人類の過半数が住んでいます。アジアの平和の流れ、また共同体形成の流れが大きくなっています。2005 年 12 月にクアラルンプールでひらかれた東アジア首脳会議が「東アジア共同体」の形成への第一歩を確認しました。

この流れの中心は、ASEAN(東南アジア諸国連合)です。ASEAN は東南アジア 10 カ国で構成され、非同盟諸国会議に参加。ASEAN は、1995 年東南アジア非核地帯条約に調印しています。

- ★ ASEAN — ① 2020 年を目標に、ASEAN 共同体の創設、② 安保共同体、経済共同体、社会・文化共同体の 3 本柱、③ 経済統合の促進
- ★ 東アジア首脳会議 — ① 東アジア共同体の創造を目標とする、② 定期協議をおこなう。
- ★ 東南アジア友好協力条約(TAC) — ① バンドン 10 原則の条約化、② 国際問題の話し合いによる解決、③ 共同・協力関係の樹立。



アフリカ

アフリカの人口は 9 億人、国の数は 53 カ国、国連加盟国の約 28%、国連のなかの最大多数派です。すべて非同盟諸国会議に参加、国連憲章にもとづく平和な国際秩序、経済の「グローバル化」——規制緩和、市場経済万能——の秩序に反対、公正・民主の新国際経済秩序をめざしています。

アフリカ諸国は、アフリカ連合(AU)を設立(2002 年 7 月)、安全保障や経済面の協力を通じてアフリカの統合を促進、グローバル化時代における地位向上、域内紛争や独裁政治の根絶、クーデター政権恒久化を阻止をめざしています。アフリカ諸国は 1996 年、非核地帯条約に調印しています。



会改革を公約。

- 2006 年 1 月チリで、女性候補のパチェレが大統領に初めて当選し、ピノチェト独裁制に完全に決別し、民主化の流れを堅持。



こうした流れの背景には新自由主義政策の失敗があります。この地域では、新自由主義の実験場といわれるほど、80 年代から 20 年にわたって、新自由主義の嵐が吹きまくりました。新自由主義の政策は、市場万能、規制緩和、減税、社会保障の削減、民営化による民間活力の推進によって経済成長を追求する考え方です。日本の中曽根首相(臨調行革路線)、小泉首相(構造改革・民営化路線)の政策は、新自由主義にもとづいたものです。

中米・ラテンアメリカ諸国は、1967 年ラテンアメリカ非核地帯条約に調印しています。

変わりゆくラテンアメリカ



日本列島のすみずみに熱い変革の息吹を 17 都道府県 18 カ所で歓迎集会

■賛同団体

全国労働組合総連合
 全日本教職員組合
 全日本民主医療機関連合会
 全国商工団体連合会
 日本生活協同組合連合会医療部会
 農民運動全国連合会
 日本平和委員会
 日本婦人団体連合会
 新日本婦人の会
 婦人民主クラブ（再建）
 日本母親大会連絡会
 自由法曹団
 日本科学者会議
 原水爆禁止日本協議会
 日本民主青年同盟
 全日本学生自治会総連合
 全国地域人権運動総連合
 歴史教育者協議会
 日本キューバ友好協会
 日本のうたごえ全国協議会



* あなたも日本 AALA へ *

編集・発行

2006年2月13日発行

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-11-7 第33宮庭ビル4階

電話：03-5363-3470 FAX：03-3357-6255

ホームページ：http://www2u.biglobe.ne.jp/jaala/

E-mail：jaala@rio.odn.ne.jp

●頒価 150 円（このうち 50 円はベネズエラ代表団歓迎交流の費用にあてられます）